



◇ ミニ生きものコーナー (7月4日)

7月4日(金) 20分休み、1年生教室に集まった子どもたちに、脇葉進さんが生きもののお名前をたずねるところから、ミニ生きものコーナーが始まりました。



6月の自由参観日でのようす



ホウネンエビ



集まった子どもたちに話す脇葉さん

まず、6月に近くの用水路でつかまえてきてくれた生きもののお話をしてくれました。それは、ちょうど自由参観日のとき、「この生きもののお名前はなんですか? ○○○○○○」というクイズ形式で、子どもも大人も目をひいていた生きものです。『答え: ホウネンエビ』

実は、脇葉さんに、7月1日、ナマズやザリガニ、モツゴ、カワニナなども学校に届けてくれていたものから、豊田の地域には、まだまだたくさんの生きものがいることも教えてもらいました。これらの生きものは、職員室の飼育ケースにいましたので、職員室に入ってくる子どもたちが見るたびに、興味津々の子どもたちもいました。



職員室でのようす(7月3日)



ハグロトンボを飛び放つ

そして、「生きものせんせい」になった脇葉さんが、ハグロトンボの成虫と幼虫(ヤゴ)を、子どもたちに見せてくれました。ヤゴの体形におどろいた後、4ひきのハグロトンボの成虫を飼育ケースから飛び放つと、「ワー、飛んだ!!」と、大歓声が教室中にひびきわたりました。



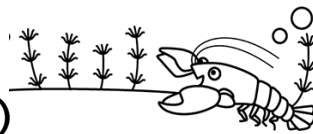
ハグロトンボの幼虫(ヤゴ)を見る

大歓声(だいかんせい)が教室中(きょうしつじゅう)にひび

◇飼育ケースから水そうにお引越し【5年生】(7月3日)

7月4日(金), 5年生の子どもたちが, 脇葉さんから学校へ届けてもらった生きものを, 飼育ケースから水そうへの引越しをしてくれました。ろ過装置を組み立てたり, エアポンプを設置したり, 砂利を敷きつめてから石を置いたりするなどの準備をして, ナマズとモツゴ, ザリガニとカワニナを2つの水そうに分けて入れてくれました。

ぜひ, 須賀の生きものを観ることができる水そうが, 1階のろうかにありますので, 学校へ来たときにご覧ください。



◇朝のよみきかせ(7月9日)

今回も, 学校支援ボランティアやよみきかせボランティア「ひまわり」の方々に, 絵本や紙しばいを読んでもらいました。子どもたちは, ユニークなお話に大きな声で笑ってみたり, 紙しばいの一枚ずつ変わる絵をじっと見つめていたりするなど, どの学年もお話の世界にのめりこんでいました。また, 特別に1年生の教室では, 保護者の方によるスペインの食べ物や文化などの写真を見ながら, 「オリーブ, おいしいよ」「闘牛を観ることもできるよ」など, スペインのお話をしてもらいました。



◇地域の人と仲を深めよう集会【地域委員会】(7月9日)

5・6年生の地域委員会が, 内容をじっくり考え, チラシを作り, 二次元コードからの参加を募集するなどの準備をして, 体育館で全校児童と地域の方とのふれあいを目的とした集会を開きました。

レインボー班に分かれて, むかしの遊びをテーマにした「めんこ」「福笑い」「はないちもんめ」「かごめかごめ」を楽しみました。

